

レビューシート(事業改善型)

様式 1

レビュー項目 (事業名)	消防団の活性化 (女性消防団員充実強化支援事業)				部(局)	危機管理部				
					所管課	消防保安課				
					担当班	地域防災担当(消防班)				
					連絡先	梶本(73276)、宮崎(73281)				
開始年度	令和5年度	終了年度	—	関連計画等	南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム(消防団員数)					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					実施主体等				
事業目的	・女性消防団員の加入促進や活動を支援									
事業概要	I 女性消防団員活性化事業 消防団活動への女性の参加を促す各種研修や女性消防団員の資質や能力向上に資する研修会等の実施に対して補助【実施主体：県消防協会】 II 女性消防団加入促進事業 女性消防団員加入促進や女性消防団員が中心となり実施する先進的な取組に対して補助【実施主体：市町】									
これまでの改善状況	I 女性消防団員活性化事業の交付額(定額)を200千円→224千円に増額									
業務フロー	I 県消防協会(交付申請)→県(交付決定)→県消防協会(事業実施・実績報告)→県(補助金支払) II 市町(実施計画)→県(選考・内示)→市町(補助金交付申請)→県(補助金交付決定)→市町(事業実施・実績報告)→県(補助金支払)									
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額		5年度決算額		6年度当初予算額		7年度当初予算額	
	事業費①		0 千円		1,255 千円		3,224 千円		2,224 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	0 千円		1,255 千円		3,224 千円		2,224 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(1,255千円)		(3,224千円)		(2,224千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0 千円		3,224 千円		3,224 千円		2,224 千円	
	執行率((①/②)×100)		—		38.9%		100.0%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.0人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			0 千円		1,650 千円		1,744 千円		1,800 千円	
	職員給与費 a		0 千円		1,431 千円		1,520 千円		1,581 千円	
	賞与引当金繰入額 b		0 千円		119 千円		116 千円		119 千円	
退職手当引当金繰入額 c		0 千円		100 千円		108 千円		100 千円		
総コスト(①+③)		0 千円		2,905 千円		4,968 千円		4,024 千円		

レビューシート(事業改善型)

様式 1

	指標名	区 分	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 目標	最終目標 【年度】	
評	成果指標(アウトカム指標①)	目 標	1,387	1,434	1,444	1,491	1,491	
		実 績 (見 込)	607	614	(635)	(649)	—	
		女性消防団員数	(単位当たりコスト)	(0 千円)	(5 千円)	(8 千円)	(6 千円)	
		達 成 率 (見 込)	43.8%	42.8%	(44.0%)	(43.5%)		
価	成果指標(アウトカム指標②)	目 標	—	3	3	3	3	
		実 績 (見 込)	—	6	(3)	(3)	—	
		補助件数	(単位当たりコスト)	—	(484 千円)	(1,656 千円)	(1,341 千円)	
		達 成 率 (見 込)	—	200.0%	(100.0%)	(100.0%)		
指	成果指標(アウトカム指標③)	目 標						
		実 績 (見 込)						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達 成 率 (見 込)	—	—	—	—		
	活動指標(アウトプット指標①)	目 標	2	2	2	2	2	
		実 績 (見 込)	2	2	(2)	(2)	—	
		女性消防団員に対する研修実績	(単位当たりコスト)	(0 千円)	(1,453 千円)	(2,484 千円)	(2,012 千円)	
		達 成 率 (見 込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	活動指標(アウトプット指標②)	目 標						
		実 績 (見 込)						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達 成 率 (見 込)	—	—	—	—		
活動指標(アウトプット指標③)	目 標							
	実 績 (見 込)							
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—			
	達 成 率 (見 込)	—	—	—	—			
標	終期設定	有 ()	無					
	改善基準							
自 己 評 価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況(総合的評価)					
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	・消防団員総数については、全国1位を維持しているが、一方で団員数は毎年減少している。 ・女性消防団員が入団しやすい環境を市町が整えることを目的に詰所の環境整備や装備品の充実に対する補助金の活用を促しており、女性消防団員も増加しているが、さらなる増に向け、より効果的な方法を考える必要がある。	市町による県補助金の活用が進み、入団促進に一定の効果をあげているものの、実団員数の増加に向けては、更なる工夫が求められる。 また、女性消防団員に対する研修等を行い、入団によって得られるメリットや女性消防団員ならではの取組について情報交換できる場も提供しているが、それが広がりを見せているとは言えない状況にある。 今後は、企業や学生へのPRや連携、地域の消防活動への理解促進など、女性消防団員の更なる入団促進に向けた取組が必要である。					
○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など	・消防団員の確保は市町に課せられているという法律上の枠組みを踏まえ、実施主体である市町にも応分の負担(県の負担は1/2以内)を求めている。							
価	課題・今後の方向性							
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 (企業や学生へのPRなど消防団員の増加に向けたイメージ・広報戦略のほか、企業や学生(高校・大学)への直接的なアプローチなど効果的な入団促進につながる取組を検討(女性のみならず男性団員の入団も低調であることから、女性に絞った事業の方向性のみならず、男女共通の取組についても検討))							
外部 委員 意見	・女性消防団員の増加は確認されているのであれば、補助事業との因果関係の検証が不十分のため、モニタリングと効果検証すべき。 ・現行のアウトカム指標①「全消防団における女性団員の採用」では女性団員数の増加が正確に反映されにくく、成果を十分に捉えられないため、「女性消防団員数」というダイレクトな指標を設定すべき。 ・レビューシートの自己評価欄「目標に対する達成状況(総合的評価)」について、「市町による県補助金の活用は進んでいるが、それが消防団への入団を促進するという目的に結びついていない。」というわけではないと考えられるため、再検討していただきたい。 ・ハード面(トイレ・更衣室整備)だけでなくソフト面(研修・広報)への補助も非常に重要であるため、取組にも広げられているか。 ・女性をターゲットにしているため、女性にしかできない仕事や女性の方が得意な仕事等をPRしていくことも増員につながるのではないかと。 ・全体として団員の数を確保したいということであれば必ずしも女性に限定する必要はないのではないかと。学生や若者層についてはボランティアにもなり社会的意義があるというアプローチも広報として有効である。 ・ソフト事業の研修やイベントにおける、一般参加も含めた研修参加者数などをアウトカム指標として追加すべき。団員以外の一般の関心層を巻き込む広報・研修の工夫が重要である。							
改善結果								
本事業内における新規入団者数を実績報告内容として市町に求めているが、さらに詳細な入団理由やきっかけ等を調査するよう依頼する。また、消防団活動に親和性のある看護系や地域活動に興味を持つ学生等に対する働きかけを促進するため大学・専門学校等事務局と連携した入団説明会を実施し、学生消防団員の加入促進に取り組む。女性消防団員を対象とした研修やイベントについては、これまでも入団を検討している一般県民の参加を認めており、より一般県民に認知してもらえるような内容の研修企画とその広報に努めていく。								